

第三者審査報告書


コスモ石油グループ「サステナビリティレポート 2004」に対する第三者審査報告書

平成 16 年 8 月 30 日

コスモ石油株式会社
代表取締役社長 木村 彌一 殿

あずさサステナビリティ株式会社
(あずさ監査法人グループ)

代表取締役 大木 壮 

取締役 魚住 隆太 
(環境主任審査員、環境計量士、公認会計士)

1. 審査の目的及び範囲

当社は、コスモ石油株式会社（以下、会社という。）が作成した『コスモ石油グループ「サステナビリティレポート 2004」』及び「データブック」（以下、「サステナビリティレポート」という。）について会社と合意した特定の審査手続を実施した。審査の目的は、独立した立場から「サステナビリティレポート」に記載されている環境・社会・経済パフォーマンス指標及び環境会計指標の信頼性並びにその他の記述情報と会社の根拠資料との整合性について報告することである。

なお、審査は 2000 年度より実施しているため、1999 年度以前の指標は審査の対象としていない。

当社の実施した審査手続は、監査とは異なるため「サステナビリティレポート」について監査意見を表明するものではない。

2. 審査の手続

当社は、会社との合意に基づき次の審査手続を実施した。

- ①「サステナビリティレポート」に記載されている環境・社会・経済パフォーマンス指標及び環境会計指標について、作成の基礎となるデータの把握方法及び集計方法の検討
- ②「サステナビリティレポート」に記載されている環境・社会・経済パフォーマンス指標及び環境会計指標について、サンプリングによる会社の基礎データ及び計算の正確性の検証
- ③「サステナビリティレポート」に記載されているその他の記述情報について、作成責任者への質問、事業所の現場視察による状況把握、内部資料及び外部資料との比較検討

3. 審査の結果

当社の実施した審査手続の結果は次のとおりである。

- ①「サステナビリティレポート」に記載されている環境・社会・経済パフォーマンス指標及び環境会計指標は、会社の定める方針に従い合理的に把握して集計、開示されたことにおいて、変更すべき重要な事項は認められなかった。
- ②「サステナビリティレポート」に記載されているその他の記述情報は、審査の過程で入手した内部資料及び外部資料との整合性において、変更すべき重要な事項は認められなかった。

以 上